



インタビュー まちすき♡

高島中央公園愛護会会長
松本 道雄さん



【プロフィール】

横浜生まれ。15年前に港南区からみなとみらいのマンションに移住。マンションの自治会を立ち上げるなどさまざまな地域の活動の中心的な役割を担う。ウルトラマラソンに出場するトップアスリートの奥さんと2人暮らし。

高島中央公園愛護会

毎月定例の公園清掃&ラジオ体操のほか、花壇への花植えやポニーの乗馬体験などのイベントを開催しています。



「地域活動への参加のきっかけは？」

みなとみらいに引っ越してきたことで。それまでは仕事で忙しく地域に関わることはほとんどありませんでした。一級建築士として働いていた時に体調を崩し異動したのですが、以前の仕事よりも時間的に余裕ができるようになり、建築士としての知識と経験を地域に生かせないかと考えていました。ちょうどその時、マンションの隣にある高島中央公園の活用について話し合うワークショップのことを知り参加しました。

「愛護会が生まれるきっかけは？」

このワークショップから「高島中央公園ガーデンクラブ」の活動に関わり、ヨコハマ市民まち普請事業のコンテストに通過し、その助成を受けて地域住民の思いが込められた公園づくりができました。2010年に名称を改め高島中央公園愛護会が誕生しました。

「愛護会以外にもさまざまな地域活動をされていますね」

みなとみらいはマンション毎に管理組合はあるものの、地域の住民としての繋がりが希薄です。私が住むマンションでは自治会を立ち上げ、住民同士の交流の場づくりをしています。みなとみらい全体でも、地区内マンションの管理組合連絡会や、住民目線で防災対策に取り組む防災減災協議会を立ち上げて、住民によるコミュニティづくりを進めています。

そんな中で、まちづくりのNPOなどに関わるようになり、現在では民生委員保健活動推進委員もやっています。

「地域活動は大変ではありませんか」

地域にはさまざまな考えの人がいます。私自身はこれをやりたい、こうしなくてはダメだなどという考えは持っていない、いろんな人たちと話をしている中で今やるべき事の方向性が見えてくるんです。中には否定的な意見の人もいますが、なぜそのようなことを言うのかを受け止めながら軌道修正をして、合意形成をしていくプロセスが好きなんです。地域活動は大変というよりもむしろ、自分たちがやりたいと思えば変わっていく、そういう世界があることを教えてくれます。

「子育て世代へのメッセージを」

子どもたちのやりたいという気持ちが大変でそれを叶えてあげるのが大人の役割なんじゃないかと考えながら活動しています。子どもたちを地域の一員として受け入れて、子どもたちの意見にもしっかりと耳を傾けて一緒に楽しむ余裕が大人にあるといいなあ。仕事家庭に追われて余裕がない人も多いだろうし、教育習い事に熱心な人も多いでしょう。一歩引いて、今の子がやりたいことはなんだろう、この地域の中でできることはなんだろうを考えて、子どもも役割を持って地域に参画してくれたいと思います。

季節と暮らそう 春のお届け便

「横浜市子ども植物園」より、季節の植物を紹介します。

リンゴ



4月下旬になると、白にほんのり桃色がかった花を咲かせます。国内だけで2000種類あるといわれ、収穫期も8月～11月と幅があります。ですから旬も品種により様々です。ところで1年中店先で見かけるのは、果実が一定の条件下で長期間貯蔵できるためです。赤いリンゴの場合、結実後緑色だった果実は、熟して糖分が増え始めると皮の中でアントシアニンという色素が作られ赤くなります。これが食べ頃のサインです。ただ赤くなるには、十分な太陽の光(そして低い気温)が必要です。私たちが食べるのは、明治以降に欧米から導入された「セイヨウリンゴ」がほとんど。その他に、古くから栽培されてきた小ぶりな「ワリンゴ」があります。子ども植物園では、逸話を持つ「ニュートンのリンゴの木」「ウィリアムテルのリンゴ」が見られます。

(緑の相談員・速水善浩)

【問い合わせ】 横浜市子ども植物園 入園無料
南区六ツ川3-122 ☎045-741-1015 開園時間9:00～16:30

*園内で開催している子ども向けイベントをベイ★キッズLINEでお知らせ。LINE登録は4面を見てね。



身近でできるSDGs

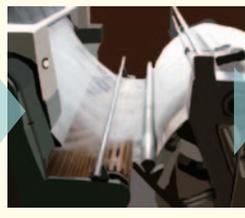
このコーナーではSDGsの17の目標に向けて身近にできることを紹介していきます。今回は長年使ってぺちゃんこになった布団が蘇る布団の打ち直しについて紹介します。

布団の打ち直し

布団の打ち直しとは、布団を再生加工(リフォーム)して新品同様に作り直す技術のことです。昔の日本では木綿の布団が主に使用されており、古くなってくると打ち直しして使い続けることが一般的です。布団にもよりますが新しく購入するよりも安価で済むこともあります。(シングルサイズの敷布団の打ち直し費用は約15,760円くらい)

打ち直しの方法

Before...



- ① 布団から綿を取り出し、他の布団と混ざらないよう厳重に管理
- ② 専用の機械でゴミやダニなどを吹き飛ばし、綿を再生していきます
- ③ ふっくらとしたきれいな綿になりました



【お話を伺った方】
花嫁わたふとん店 吉村和善さん

布団を見せてもらい、綿の素材や状態を確認してから打ち直しできるか、買いなおした方がいいかアドバイスしています。
西区内なら出張対応できます。

西区内に残る唯一の寝具屋さん。西川や小杉など有名寝具メーカーのアウトレット品を中心に取り扱いしているのでお得に良品が購入できます。

西区中央2-3-13(西前商店街)
☎ 045-321-4391
10:00～18:00 日曜休み



パパと遊ぼう!

よこはま子どもカレッジの「名物せんせい」

サッカーコーチ編

世界6大陸でプレイした元プロサッカー選手
中村元樹 先生



小学1年生からサッカーを始める。23歳の時にヨーロッパのアルバニア共和国でプロサッカー選手としてデビュー。その後、インド、フィリピン、ラオス、ニュージーランド、アフリカのマラウイ共和国など世界6大陸でサッカーをプレイ。現在は横浜と東京でサッカースクールを運営しながら、日本サッカー協会の「夢先生」として日本各地の小中学校での講演や、使わなくなったサッカー道具を世界に寄付する社会活動も行っている。

子ども達に様々な体験を提供している「よこはま子どもカレッジ」。子どもの挑戦を後押ししてくれる個性豊かな先生をご紹介します!

Q.子ども達にサッカーを教える時に意識していることは何ですか?

とにかく子ども達が楽しくプレイすることです。失敗を恐れずチャレンジする姿勢をどんどん褒める。そして、子どもがゴールを決めた時には僕も一緒になって全身で喜びを表現する。楽しいからこそ、自ら進んでやりたいという気持ちになりますし、結果、上達にもつながります。みんなが楽しく前向きになれる雰囲気を作ることを一番意識しています。

Q.サッカーを通して子ども達に学んでほしいことは何ですか?

サッカーは世界の人とつながることができる手段です。単にサッカーが上手いというだけではなく、人ときちんとコミュニケーションが取れること。相手をリスペクトしながら、自らを表現して伝えられること。僕が世界を渡り歩いてきて、一番大切だと感じていることです。

Q.読者の方へメッセージを

「よこはま子どもカレッジ」では、パパママと一緒に参加できる「親子サッカー」と子ども達だけが参加する「1dayサッカー教室」を担当しています。どちらも未経験者歓迎、幼児さんから参加できます。僕が誇りに思っている「楽しい雰囲気」を、ぜひ体験しに来てください!

横浜のパパが発信!
パパが子育てを楽しむためのコーナーです。

